



稲敷市 趣味を楽しむライフスタイル

09



一軒家のリフォーム

Inashiki City

茨城県稲敷市にお住まいのT.Hさん（60代男性）は東京都出身で、工業製品の開発に長年従事された後、現在は顧問として活躍されています。趣味はバイク、サイクリング、写真撮影と、自然を愛するライフスタイルを送られています。平成元年に都会の喧騒を離れ、静かな環境と自然を求めて稲敷市へ移住されました。空き家バンクと市の補助金を活用し、理想の生活空間を実現させています。趣味を満喫しながら、奥様と愛猫2匹との日々を楽しまれています。そんなT.Hさんの空き家バンク制度利用の経緯とこれからの夢について、詳しくお話を伺いました。



Q. ご自宅にお伺いした際にあまりにも新しくスタイリッシュな外観であったため、空き家バンク活用物件と聞いてとても驚きました。なぜ空き家をご購入されたのでしょうか？

都会の忙しさから離れたくて、自然が豊かで静かな場所を探していました。稲敷市は、土地も手頃で、周りの音がしない静かな場所で、自宅前の田園風景も美しかったのでここに決めました。

Q. 空き家探しはどのように始められたのですか？

不動産会社からいくつか提案をいただき、その中から見つけました。初めから空き家を購入しようとしていた訳ではなく、気に入った土地に空き家があったので購入しました。購入後に選んだ家が空き家バンクに登録されていることを知りました。

Q. 購入を決めた最大の決め手は何だったのでしょうか？

敷地が広く、私の趣味であるバイクやサイクリングに最適な環境だったこと、加えて、静かで星空が美しいことが決め手でした。また、もともとサイクリングこの辺を自転車で走っていたので地図もわかっていることもありました。



Q. リノベーションにはどのように取り組まれましたか？

自分の趣味に合わせた機能性とデザインにこだわりながら進めました。駐車場も作れ、趣味のバイク、自転車を収納できるスペースも作りました。

Q. リノベーションをしてみて、良かった点と大変だった点はありますか？

良かったのは、井戸水が利用できたことです。また、家の周りに生垣があったのも活かされたので良かったです。



Q. 設計者や施工者をどのように見つけられたんですか？その過程をお聞かせいただけますか？

実は、自宅に一番近い工務店にお願いすることになりました。最初はインターネットで検索して大手設計事務所に相談したのですが、理想通りにはなりませんでした。そこで、もっと身近なところに良い業者がないかなと探したところ、ほんの家の近くで、リフォームを得意とする工務店があることがわかりました。リフォームに関してとても得意とされていて、理想に添えてくれたのでそこをお願いすることにしました。

Q. 改修費用はご予算内に収まりましたか？

土地と家の購入、そして改修には合計で約4千万円かかりました。少し予算を超えましたが、新しい生活に向けた価値ある投資だったと考えています。



Q. 行政からの支援は受けられましたか？

はい、稲敷市からの補助金が使えてありがたかったです。市からは、移住した人に5万円の支援がありました。家財道具の片付けには各10万円、それにリフォーム費用には最大で50万円程が支給されました。家の登記やお風呂、台所のリノベーションにこの支援金を活用しました。

Q. 今後、所有物件をさらにリノベーションするなどの計画はありますか？

シアタールームやプライベートルームをつくるかもしれません。

**Q. 空き家を検討している方々へのアドバイスはありますか？**

良い工務店さんとの出会いが非常に重要になってきます。事前にしっかりと相談して、どのように家を改修するか、実現可能か確かめることが大切です。まずは、購入を急がずに、理想の家を実現できる工務店さんを見つけることをお勧めします。その上で、改修やリノベーションに関する方針がしっかり決まってから、購入に踏み切ると良いでしょう。地元の工務店さんは、大手と比べても細かい要望に応じてくれる場合が多いですし、個人的なサポートを期待できることがあります。ハウスメーカーさんだと対応が難しい場合もあるので、地元の工務店さんとしっかりとコミュニケーションを取りながら、理想の家づくりを進めていくことをおすすめします。

空き家バンク制度を活用して、既存の空き家を一部活かしつつ大幅なリノベーションをして理想の家を実現されたT.Hさん。笑顔にあふれるすてきなひと時とお話をありがとうございました。